

# 聖母愛児園報

2017年9月12日発行  
〒231-0862  
横浜市中区山手町68

## 自立支援とアフターケア

子どもたちの未来のために

子どもたちの熱い夏

野球・ソフトボール大会出場

# 自立支援とアフターケア

## 子どもたちの未来のために

事業報告書より

自立サポート委員会では、パソコン教室、社会体験ツアー、ど根性料理塾、集まろう会等、委員会の活動が安定して展開できた昨年であった。委員以外の職員が、委



ど根性料理塾

員会活動を理解し、見通しが持ちやすくなったことが大きく影響していると捉えている。

更に昨年度は、委員会として6月のヨコハマアフターケア勉強会参加を皮切りに、園内研修【K2の自立援助ホーム】、地域福祉推進を考えるセミナー（神奈川県社会福祉協議会）に参加し、地域社会との連携が退所者に重要である事を感じることが出来た。

また、アフターケアを園全体の組織的な取り組みとするため、園内のアフターケアの現状を調査した。まずは全職員にアフターケアの取り組みについてのアンケート

を実施、そして次年度から公的にアフターケアの記録を残すことを提案・決定した。

平成29年度は、これまで委員会の活動として実施してきたパソコン教室、ど根性料理塾、集まろう会を園の活動として考え、コーディネートしながらも、これまでの活動（社会体験ツアー、自活訓練スペースの提供）に加えて、新たな取り組みに挑戦していきたいと考えている。

高校生会は、まずは高校生達の居場所となるよう工夫を続けている。自立に向けた様々な観点からの学びを得るための座学と、積極



パソコン教室

的に屋外へ出てアウトドアやレクリエーションを行うフィールドワークとで構成し、月に1回以上の活動を展開した。6月には昨年同様、男女別れての宿泊行事を実施。女兒は園内の地域交流ホールにてお泊り会と称して、夜中まで映画鑑賞をしたり語りあったりした。

一方、男児は近場のキャンプ場にて野外活動を実施。火おこしをして夕食調理をし、テントを設営して宿泊した。夜釣りをを行う等、前年度よりもフィールドを拡大した。そして、前年度希望が挙がったサイバル活動を9月に実施。男女4名の児童と引率職員3名の

合計8名で、伊豆半島へ1泊2日のキャンプ活動に出掛けた。キャンプ道具以外に、食料は米と最低限の調味料のみ準備して、食材はほぼ全て自然から調達してくる、という設定で実施。天候不良が残念であったが、高校生達から「普段の生活がどれだけありがたいか、よく分かった」との感想が聞かれ、狙い通りの成果があげられたと手応えを感じている。次回は、更に参加児童を増やし、日頃の生活を感謝すると共に、身の回りの事を全て自分で行う、という意味で、自活訓練の一助にしていきたいと考える。8月には日帰りですストレッチ外出を行った。学校の予定を把握できずおらず、部活動や登校日などが重なり参加児童が3名となってしまうが、参加児童からは「年下の子を気にする事なく思い切り楽しめた！」等の声が聞かれた。普段は大人しい印象の女兒が最もアクティブに行動しており、夜には外食もして大いに楽しんだ。10月には職員をもてなすバーベキューを実施。食材の買い出しから高校生達で行い、皆で

相談しながら役割分担をしてい  
た。この活動も毎年恒例となっ  
ているため、先輩児童が後輩児童に  
指導や助言をする様子が見られ、  
良い雰囲気を感じられた。11月に  
は、こちらも毎年恒例の性「生」  
教育活動を行った。高校生達の生  
活課題を確認し、「生」教育とし  
て日頃の生活に役立つ内容を行う  
事に決める。そして、整理整頓の  
大切さや、清潔感のある生活を送  
れるようにと、カビやダニや細菌  
の話題や歯磨きの大切さ等につ  
いて紹介した。影響を受けやすい児  
童は、会が終了した後、さっそく  
一生懸命歯磨きをしたり翌日す  
ぐに自室の大掃除をしたりと、即行  
動に移っていたそうである。1月  
には企業と連携し、栄養学やスキ  
ンケアといったテーマのセミナー  
受講とオフィス見学を実施。スキ  
ンケアセミナーを受講した、早速、  
学び得た洗顔方法や栄養摂取を実  
施している児童もいた。オフィス  
見学では、普段は見る事の無い仕  
事場の様子を知る事が出来ただけ  
ではなく、広告デザインの作成方  
法など技術的な部分も教えてもら

う事ができ、とても貴重な経験と  
なった。この企業からは、卒園を  
迎える高校3年生に対してノート  
パソコンの寄贈も頂いている。

自立サポート委員会と連携しつ  
つ、自立に向けた情報提供や社会  
体験ツアーへの参加、2月のあつ  
まろう会へのスタッフ参加も実  
施。徐々に顔見知りの卒退園生が  
増えて来た事もあり、年を増す毎  
に参加意欲が高まり動きが良くな  
っている様子であった。また、今  
年度は高校生会への参加率が低い  
児童がいたが、あつまろう会がき  
っかけとなり調子が上向く事がで  
きた。



高校生会アスレチックで発散

子どもたちの熱い夏

優勝候補との試合でしたが、投  
手の好投で怪我無く、喧嘩も無く、  
無事に試合を終えることができ  
た。

子ども達には伝えていますが、  
来年が本番です。〇〇が中学生の  
間に、必ず一勝したいと思ってお  
ります。

野球チームは通年野球の練習を  
しておりますので、今後も変わら  
ずのご支援をよろしくお願いしま  
す。 チーム職員一同

野球チーム戦績					計
1	2	3	4	0	2
聖母	1	0	1	0	8
〇〇	7	0	1	x	

  

ソフトボールチーム戦績					計
1	2	3	4	5	14
〇〇	1	2	3	1	7
聖母	0	0	0	1	0

無失点で抑えられた回は残念  
ながらありませんでしたが、内容  
的には全然負けてない回や場面も  
あり、今後への期待を大いに感じ  
させてくれました。普段から色々

と課題がある子もいるかと思いま  
すが、今日の頑張りには各ホーム  
で大いに労いとお褒めの言葉を掛  
けて頂けたらと思います。

勝つことは出来なかったのです  
が、良いプレーもたくさんあり、  
笑顔で喜んでいる姿があり、本当  
に良かったなと思いました。

ソフトボールチームを支えてく  
ださり、本当にありがとうございました。  
チーム職員一同



選手宣誓の大役を担う

来年は試合に出たい



そふとぼーる  
へるめつとをならべました。うた  
をつたりおうえんをしました。  
ぱつとをならべました。らいねん  
わしいにでたいのでがんばりま  
す。 小学一年女子



◇子どもたちの様子◇

聖母愛児園イベント記録  
<http://seiboaijien.com/blog/>  
聖母愛児園Facebookページ  
<https://www.facebook.com/seiboaijien>